



ありんに便り

2011 年

9 月 6 日発行

通巻第 3 号

由木かたくりの会の家族会「ありの会」会報



「ありの会」へのご意見・ご要望は、〒192-0355 八王子市堀之内 1236-8 社会福祉法人 由木かたくりの会気付「ありんこポスト」までに郵送するか、ポストに直接投函して下さい。Eメールで送る場合のアドレスは《 arinko_renraku@yahoo.co.jp 》へ。ホームページは《 http://space.geocities.jp/arinko_renraku 》です。

◎ぷらさ・de・かたくり就労継続支援 B 型に移行、松木の建物も大幅改修工事

社会福祉法人由木かたくりの会の中で、公益事業の小規模作業所として残された「ぷらさ de かたくり」が、来年 4 月から、社会福祉法人に組み入れられ就労継続支援（B 型）事業に移行します。これに伴い、現在の松木の建物は、自立支援法の設置基準を満たしていないため、大幅な改修工事が実施されます。このことは「ぷらさ de かたくり」の会員には、個別面談で利用者・家族の意向を確認しながら進めてきたところですが、障害者自立支援基盤整備事業補助金（東京都補助金）が決定し、事業の概要、建物の設計等が決まっていよいよ本格的にスタートします。事業内容等計画の詳細は、ありの会の第 2 回定例会で野口理事長より説明されますので、ここでの紹介は省き、1, 2 階の平面図（案）を提示します。現在、予算、設計の枠が決まっているので大きな変更は難しいですが、定例会の席で利用者・家族の視点から、可能な範囲での変更提案をして良い事となったためです。

※ 図面はこの「ありんこ便り」の最後の 2 ページに添付してあります（削除してあります）。

◎新施設長のご紹介

削 除

◎第 2 回定例会のお知らせ

開催日時：9 月 12 日（月曜日） 午後 1 時 30 分より

開催場所：かたくりの家 2 F 食堂にて

内容：① 新施設長よりの挨拶

② 由木かたくりの会 H22 年度事業・収支報告、H23 年度事業計画

③ プラサ・de・かたくりの就労支援 B 型移行と建物の大幅改修について

④ 由木かたくりの会「災害時帰宅マニュアル」について

⑤ 全体親睦会について

グループホーム、ケアホームに関する学習会については今回時間の余裕がありませんので、次回以降の定例会に行います。②、④については、今週中に、利用者を通して資料が配布されます。事前に資料に目を通して下さるようお願いいたします。

◎全体親睦会の計画・検討状況のご報告

全体親睦会の開催は、ありの会設立時（2011 年 3 月）の一つの大きな活動目標でした。かたくりの会設立時（1987 年）は家族会はかたくりの会と一体で、子供たちの学校卒業後の日中活動の場を確保するために様々な活動を行い、ログハウスの「かたくりの家」を立ち上げました。更には社会福祉法人化を目指し、資金面での協力を含めて多くの山谷を越えて来ましたが、初期の頃はバザー、ガーデンシティーへの出店、旅行と力を合わせて夢中でやって来ましたが、法人化の大きな坂を登り切った所で一息ついて回りを見ると、法人の「かたくりの会」が独自

の足で歩きだして成長して行く姿でした。子どもが巣立っていった後で親は何をするのか？ 少なくない時間が止まっていた感があります。成長した子と親の新たなあり方を模索し、まだまだ高い前途の波を共に越えて行かなければなりません。利用者・家族・職員が一体となり共に一歩を踏み出せる場を作りたいとの思いでした。

しかし、ありの会単独での開催ではなかなか全員が集まれる環境を作れませんので、8月19日のかたくりの会との折衝で相談したところ、とても前向きな返事を頂き、8月29日の合同役員会の席では具体的な提案書が提出されました。現在、かたくりの会の理事には堀之内の町内会長も就任しておりますので、ゆくゆくは地域住民の方々とも親睦を深められる場として行ける可能性も秘めています。

「かたくりの会」と「ありの会」の共同開催となる親睦会は11月5日（土）12:00～15:30 で計画しております。計画内容は9月5日午前中のありの会の役員会で検討し、同日午後のかたくりの会との折衝で概要を決め、9月12日の定例会で会員の皆様へご案内が出来ると思います。

カラオケ、太鼓の発表、屋台、などの企画がありますが、ありの会としては屋台（焼きそば、豚汁など）とゲームを担当します、**役員以外にも実行委員を募集します**ので、**会員の皆様の積極的な参加**とご協力をお願いいたします（電話、メール、ありんこポスト等で実行委員への参加意思をご連絡下さい）。

◎合同役員会（防災マニュアル作成協議）検討状況のご報告

8月29日（月）14時よりかたくりの家にて、かたくりの会：3名、ありの会：5名の出席で第2回の合同役員会が行われました。事前（8月22日）にかたくりの会から提出されていた「災害時帰宅マニュアル（案）」に沿って協議しました。今回提出された案は、3・11当日の帰宅時の状況を、ありの会で聴き取り調査を行い、これに基づいて制作したありの会の要望に対する、かたくりの側の回答案になります。ありの会の要望の骨子は、保護者へ対面の引き渡しと、それが出来るまでかたくりの家で保護することなどでした。これに対し、かたくりとして、一泊を限度とするなど通所施設としての限界がありながらも、精一杯我々の要望に応えようとする内容と思われました。事業所ごとに避難場所と優先順位なども明示されています。このため協議内容に大きな意見の相違は無く、細部の追加・修正作業が主となりました。今後の方向として、本マニュアルを上位で規程する「由木かたくりの会 防災規程」が現在は再整備中なのでまともな次第開示していただくことや、地域（堀之内町会）との連携した対策を急ぐことなどが確認されました。備蓄品などの市の援助は、かたくりの会のような施設単位ではなく、町会などの地域単位となりますので、地域全体の防災対策にかたくりの家もしっかり組み入れられる必要があります。幸いかたくりの会の新理事のKさんは堀之内町会会長さんでもあり、前向きな取り組みが期待されます。今後、この避難場所を利用者、親、職員が合同で実地踏査する訓練とか、かたくりの家で宿泊する場合のありの会の応援態勢の確立など、まだまだ詰めなければならないことは多くあります。今回合同で協議したものを文書化して配布します。定例会では質疑を行います。災害時の帰宅に限定していえばほぼ成案となるものです。かたくりの家は立川断層と言う活断層が近くにありますが、3・11の教訓を忘れず万全の態勢を整えたいものです。会員の皆様の積極的な参加を期待します。

◎会員からの投稿

自立への一歩

B （かたくりの家 B型 Aの母）

「ただいま」
元気な声がグループホーム『C』に響きます。

「おかえりなさい」
世話人さんのやさしい声に にこっとするA。そんなあいさつからホームの一日は始まります。
いつかはグループホームにと思っていた私たちですが、こんなにも早く自立の一歩を踏み出すとは思っていませんでした。仲間が何人かグループホームに入居した事で、自分も入りたいと思うようになったのです。私たちが思っていたよりずっとAは大人だったのかもしれません。その気持ちに後押しされるように探し始め、初めて見学に行ったのがCでした。



Cの自室（6畳間）でくつろぐAさん

見学に行っすぐ入居を決めました。

ここしかないと思えたのは、世話人さんご夫婦のあたたかいお人柄でした。その雰囲気がCを包んでいました。入居されている7名の女性の方々も皆さんとてもいい方で、Aにとってこれ以上のホームはなかったと思っています。

Cは、*****あたりにあります。毎日駅までの道のりを*分位かけて歩き、電車で****まで行って送迎バスに乗っています。通勤も、Cでの生活もたくさんの方々に助けていただきながら、一步步積み重ねてきました。私たち親は、心配ばかり先にたってしまうけれど、何事もやらせてみなければわかりません。やってみてダメだったら元にもどってみればいいのではないのでしょうか。その時、0（ゼロ）にはもどらないと私はいつも思っています。何かを得たほんの少しの+（プラス）の位置から、また一步步始めればいいのだと。

さて、Cでの生活に話をもどしましょう。

Aは5時頃、帰ります。連絡帳を出したらお風呂のボードに記入して順番をとります。帰宅順に入るので、Aはわりと早く入ります。お風呂に行く時は、かごに必要な物を入れて持っていきます。木曜日は、その時間に洗濯もします。お風呂が終わるとにぎやかな夕食です。もちろん世話人さんの心のこもった手作りでとてもおいしいそうです。朝食も夕食も世話人さんが手作りして下さることも、Cに決めた大きな理由でした。毎日心のこもったあたたかい食事が食べられるのは、親として本当にうれしいことです。食事が終わると、8時までは食堂で皆さんとおしゃべりをします。その時間がとても楽しく、よいコミュニケーションの場だそうです。その後各自部屋へもどり、9時には寝ます。

翌日は、6時半に目覚まし時計をかけて起きますが、声もかけて下さいます。朝食をすませ、8時すぎにCを出ます。

「いってらっしゃーい」のあたたかな声で、また新しい一日のスタートです。

Cでは、月に1回、誕生日会をかねた食事会があり、近くのレストランで外食をします。お祭りやイベント、映画などにもでかけます。秋にはディズニーランドの宿泊旅行も計画されています。

アットホームなCの雰囲気は、こんな交流からも生まれてくるのだと思います。

火曜日から金曜日の朝までCで過ごし、土曜日から月曜日まで家で過ごす生活にすっかり慣れたAは、充実した毎日を送っています。

早すぎるかなあ・・・やっていけるのだろうか・・・そんな不安や迷いはもうありません。楽しそうな笑顔を見るたびに、これでよかったのだと思えます。

私たち親が行動を起こす——その時がその子にとって一番いい時なのではないのでしょうか。そしてチャンスがめぐってきたらそれを生かす。子どもたちはきっとそれを受けとめ、適応し、成長していってくれと、私は信じています。

◎「太鼓」の練習を取材しました

8月27日（土）かたくりの家2F、生活介護の部屋での太鼓の練習を取材しました。この日は利用者13名、職員3名、ボランティアさん5名と指導して頂いているT先生の22名での練習でした。

練習は、①ラジオ体操から始まり ②たたく姿勢や基本動作 ③基本的なリズムをたたく練習 ④ぶち合わせ太鼓のパートごとの練習 ⑤休憩 ⑥ぶち合わせ太鼓の通し練習 と行われました。それぞれの練習は2～3グループで交代しながら行われます。利用者の皆さんはボランティアの若い学生さんと一緒に、とても楽しそうに練習をしていました。



ぶち合わせ太鼓の練習中です

太鼓の練習は長い歴史のある行事で、かたくりの家がログハウスで立ち上がった時（1991年）の主要な利用者が多摩養護学校の卒業生と生徒で、学校で太鼓を練習していたこともあって、当初から放課後にかたくりで太鼓をたたいていました。現在は創作的・文化的活動として自立支援給付を受ける事業として行われています。T先生もかたくりの指導を始めて既に12年になるとの事です。先生は「練習の目標やはげみとして年に2回ほどの発表の場がほしい」とおっしゃっていました。

ボランティアさんは法政大学のボランティアサークル「一休」の方々です。毎回、沢山の方が参加され、利用者のサポートをして頂いています。利用者の皆さんもボランティアさんが来てくれるのを楽しみに

しているそうです。（ありの会のホームページにも5月28日に行われた練習を取材した記事が載っていますのでご覧ください。「ありの会ホームページ」→「ありんこ広場」→「かたくりの会でのあれやこれや」）



法政大学ボランティアサークル「一休」の皆さん

◎かたくりの会の各事業部からの報告

生活介護事業部

活動内容には変更は無く、畑作業・公園清掃・うこっけいのお世話・配達・販売・石鯰作りを行っています。

販売では、水曜日に行っていた鱧水第2団地内公園が8月末で終了し、9月より八王子市石川町にあるウェルストーン電子工業株式会社にて月・火・水・金曜日に販売を行う事になりました。

畑では、スイカ・ナス・ミニトマト・ジャガイモの収穫を行いました。農学塾の方達のご協力もあり、たくさんの作物が実りました。

7月には一泊旅行があり、新潟で温泉を楽しみました。天候にも恵まれ、おもちゃと人形館やワイナリーを見学したり、おいしい食事を楽しんだり夜は宴会で大いに盛り上がりました。皆さんマイクを手にし、笑顔で素敵なダンスを披露してくれました。

8月は恩方にある夕焼け小焼けに行きました。雨に降られた場面もありましたが、自然の豊かな景色を見ながら、手打ち蕎麦を堪能しました。

9月には、ジュキソーイングセンターの見学を予定しています。ミシンの工場を見学します。

まだまだ暑い日もありますので、体調管理・安全に十分配慮していきます。

B型ベーカリー・レストラン事業部

ベーカリーでは、半日レクで橋本にありますアリオに昼食と買物に出かけました。職員が一人怪我で1週間ほど休みました関係で普段は行うことが少ない地域清掃や仕事見学など、有意義に過ごせたようです。

今月の新製品は ウィンナーボード ￥178円です。ジューシーなウィンナーとチーズの相性がばっちりです。

レストランではKシェフが夏休みを長く取られた関係でパスタフェア（シェフはFさん）を行いました。メンバーは忙しい中、一生懸命対応しておりました。今後も期間限定メニューなどを由木工房と考えていきたいと思います。

ぷらさ・de・かたくり

*平成24年4月より新法に移行する事が決まり、就労継続支援B型として事業を開始します。それに伴い、個別面談を7月に開催し、皆様にはご多忙中にもかかわらずご協力いただきありがとうございます。個別面談では、利用者さんの家庭での様子が聴けて良かったと思います。

*8月には、暑い日が続く中、皆さんしっかり仕事に取り組んでいました。また、近くにガーデンズマルシェというお店がオープンし、ぷらさのお菓子を置いてもらっています。まだ1カ月余りですが、売上・評判も上々でこれからもしっかりとアピールしていこうと思っています。

7月の収支報告

収入	*****円
支出	*****円

由木工房

◎ 就労移行支援（現在 4 名）：5 月中旬よりトライアル雇用期間中だった利用者が 8 月半ばに正式に就職が決まり退所となりました。

9 月より近隣農家のご協力を得て、かたくりの家の玄関にて「100 菜市场」を始めました。

◎ 就労継続支援 B 型（現在、農園芸 3 名、食品加工 4 名、喫茶 10 名）：食品加工は 6 月より 1 名メンバーが増えました。毎日?ない人数の中、慌ただしくメンバーの皆さんの給食やお弁当を作っています。農園芸で作られた新鮮な野菜は喫茶やかたくりの家の前で販売しているほか、日々の給食やレストランの食材として利用されています。喫茶は 9 月よりメンバーが 1 名増えました。震災後は一時期、来客は減りましたが徐々ににぎわいを取り戻し、毎日節電で暑い中、協力し合って活動をしています。

売上

喫茶	5 月（26 日営業、来客 1,370 名）	*****円
	6 月（26 日営業、来客 1,452 名）	*****円
	7 月（26 日営業、来客 1,499 名）	*****円
農園芸	5 月	*****円
	6 月	*****円
	7 月	*****円
食品加工	5 月	*****円
	6 月	*****円
	7 月	*****円

《 職員さんのおめでたのお知らせ 》

かたくりの家 B 型の S さんに 8 月 28 日、女の子が生まれました。お祝い申し上げます。

◎会員の皆様へのお知らせ

《 入会者のご紹介 》

7 月 1 日付で、由木工房の就労継続支援 B 型に E さんが入所されました。ありの会にはお母様の F さまが入会されます。連絡網では一番右端の列の一番下の位置（G さまの後）に入ります。

《 退会者のお知らせ 》

由木工房の就労移行支援の H さんが、他の施設へ移られたため退会となりました。連絡網では右から 3 列目の一番上の位置です。削除をお願いいたします。

※ 連絡網の修正についてのお願い ※

会員の異動などによる連絡網の更新・再発行は、原則として年に 2 回程度とします。その間は会員各自で既存の連絡網を修正してご使用して下さい。

《 会費納入のお願い 》

会費を半期単位で納入されている会員の方は、10 月以降の後期分の会費納入をお願い致します。また現在 4 名の方がまだ会費納入の手続きをされていません、早急に納入される事をお願い致します。

「ぷらさ・de・かたくり」改修図面案 1 階平面図 → 削除

◎会長からの一言

現代でも地域によっては、墓地とか高齢者施設とか障害者の施設などが建つことを忌避する傾向のないことはない。かたくりの会は、逆に、地域の方々の援助、協力に支えられて発展してきた。ログハウスの時代から現在の新館の建設にいたるまで歴史を振り返ってうなずけるものがあるのでは。今度、理事になられた熊沢さんは、堀之内町会の会長であり、かたくりの会の第三者委員でもある。災害時の地域の方々の手助けは心強いものがあるが、防災設備に対する市の援助は、町会単位であり、一施設をまかなうまでになっていない。堀之内町会の防災計画の中に、かたくりの会も有効に組み入れられる方向が模索されている（なにしろ大所帯である）。かたくりのケア・ホームの建設も地域内で物色されている時期でもある。

こうしたときに、地域の方々とのトラブルは極力避けたいが、例えば、狭い道路で車が鉢合わせするようなときに、小さいトラブルがときどき起こる。理はこちらにあっても、できるだけ穏便に話すとか譲り合うなどできないか。迎合し、卑屈になる必要はまったくないが、会員のみなさまには、できるだけトラブルにならないよう慎重な配慮をお願いしたい。

「ぷらさ・de・かたくり」改修図面案 2階平面図 → 削除
